

あ げ ぼ の

西部地区社協だより

第 56 号

発行日 令和 2 年 3 月 31 日

発 行 西部地区社会福祉協議会

事務局 鎌ヶ谷市くぬぎ山4-2-46-10
(くぬぎ山コミュニティセンター内)

☎&FAX 047 - 389 - 6061

編 集 広報啓発委員会

2020パラリンピックに向けて！



「障がい者スポーツデリバリー講座」

11月29日(金)

今年の夏は、いよいよオリンピックとパラリンピックが東京で開催されます。

西部地区社協では西部小学校・西部小PTAと共催で、5～6年生と地域の方を対象に「障がい者スポーツデリバリー講座」を開催しました。講師は、アテネ・ロンドンパラリンピックの車いすマラソンに出場し、6位と5位に入賞された花岡伸和さんです。

バイクの事故により17歳で車いすの生活に！入院中下半身が動かず寝たきりの状態で、初めて自分でスプーンを使って食べたおかゆの味こそが、絶望の底から未来に向かって1歩を踏み出せた大きなきっかけとなった。車いすに乗っていても笑顔で子供達に、「目標を見つけて頑張りたい」「失ったものを数えるな、残されたものを生かせ」と話す花岡さんに、6年生の児童から「障害についての意識が変わった」と感想が述べられました。



競技用の車イスに乗っていざ出発！



北初富でもサロン「梨の花」開催♪



場所は、木刈橋公民館
(北初富第2自治会館)を
お借りしました。

10月18日(金)初めて北初富地区で行われたサロン「梨の花」どれくらい地域の方が参加してくれるのか正直不安でした。運営委員・民生委員の皆様が一生懸命に広報活動をしてくれたお蔭もあり、フタを開ければ会場に入り切れない程の人・人・人。パンやおにぎりが足りなくなり、急遽追加する程でした。

2月7日(金)に行われた第2回も大盛況でした。

令和2年度は、木刈橋公民館に加え、北初富第5自治会館での開催も決定しました。お楽しみに！



受付では、お名前のご記入と、参加費100円のお支払いをお願いしています。



女子!?!は大好き、アロマオイル

在宅介護者のつどい

12月19日(木)

アロマセラピーとはアロマ=香り セラピー=療法 を合わせた言葉です。香りには脳に刺激を与え、心と体の健康に役立つ働きがあることが知られています。

ということで、ユーカリ、ラベンダー、オレンジ等の代表的なオイルを使い、ああでもない、こうでもないという試行錯誤を繰り返すこと60分、ようやく自分好みの香りがするトリートメントオイルとクリームが完成。めでたし、めでたし。

アロマオイルの
素敵な香りで、
気分はスッキリ



雨にも負けず、ふれあいまつり

今回の西部地区ふれあいまつりは、雨の中での開催となり、残念ながら子供太鼓、友和園さん・きららさんの販売は中止でしたが、野菜の販売は大人気！炊き出し訓練の「豚汁」はくぬぎ山コミュニティセンター2階の集会室で振る舞いました。

西部地区ふれあいまつり

11月23日(土)



＜売上金＞
85,500円
は、地域福祉活動に使わせて頂きます。地域の皆様、ありがとうございました。

地域の困り事について考える

地域交流会

9月28日(土)



地域で活躍される自治会長・民生委員・主任児童委員・地区ふれあい員・地区社協の運営委員の皆様が集まって頂きました。

前半は鎌ヶ谷市社会福祉協議会 高橋良文次長による「支えあう地域をつくるために」と題した講演会、後半は地区ごとに分かれ地域の困り事や問題点についての話し合いが行われました。

地域ごとに分かれ
地域での課題に
ついて話し合い



◎各地域から出た主な問題点は・・・

＜くぬぎ山＞

- ・空き家問題
- ・ゴミの捨て方
- ・高齢化による自治会脱退

＜北初富＞

- ・買い物をする場所がない
- ・自治会に加入していない世帯の増加

＜新鎌ヶ谷＞

- ・地域のまとまりがない

さて、これらの問題にどのように取り組むべきなのか？



地域の皆さんから
出された課題を発表

遺された家族に伝えたいこと

高齢者支援教室

11月21日(木)



講師は、日本エンディングサポート協会の佐々木悦子先生です。



終活とは人生の終末期を自分らしく過ごすために前もって準備すること、とされています。元気な今のうちに自分の人生を自分の意志で過ごすことを考えておくこと、たとえば介護、誰に、どこで、どのようにして受けたいのか、その為のお金はどうするかを考えて行くことです。真剣に考えていくと色々とわからないことが出てくるはずですよ。

いつかではなく必ずやってくるそれらを合点がいくように解決して行くことはこれからの人生設計をもう一度、新たに、建てることです。それがすなわち終活ということですよ。

エンディングノートを書く事を、お勧めします。

広報誌作りに必要なものは？

令和元年12月4日 総合福祉保健センターにて、西部地区含め6地区の広報委員・事務局のメンバーが集まって「広報紙」発行についての意見交換が行われました。(総勢約35名)

広報紙発行に関しての紙面の構成・写真撮影・やりがい・問題点・今後に向けて等に関して活発な意見交換があり、各地区の共通の課題として高齢化の進む中、各委員の“やりがい”“モチベーション”をいかに維持、拡大するかが今後の課題となった。

今後も年1回程度は、この様な会を開催するべきとの感想。



編集後記

「誰もが生きがいを持ち支え合えるまち」の実現をめざして、社協の主な活動には、各種交流会、教室、広報紙の発行があり、私も微力ながら参加しています。

活動にかかわり、参加することにより、人とのふれあいを感じ、何より人とお喋りができる、一人ではないんだと実感しています。

まずは、気軽に参加。そして挨拶から始めましょう。

車イスをご利用下さい

いつでも無料で
ご利用いただけます



西部地区社会福祉協議会

くめぎ山コミュニティセンター内

☎ 047-389-6061

(火)～(土) 午前9時～午後4時

※ 時間外は留守番電話

◆福祉の相談先がわからない時にはお電話ください◆